

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しんがくどう宮崎		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に応じた専門性のある支援体制	担当制による支援や専門職との連携により、児童一人ひとりの特性や状況に合わせた療育を実施している。また、職員同士の情報共有や連携を大切にしながら支援を行っている。	専門職との連携やケース共有の機会を継続的に設け、支援の専門性をさらに高める。また研修等を通して職員の資質向上を図る。
2	子どもが安心して過ごせる環境と療育体制	個室や活動スペースを活用し、個別活動と集団活動を状況に応じて組み合わせた支援を行っている。また視覚支援の導入や環境調整により、子どもが理解しやすい環境づくりを行っている。	活動スペースの使い方や視覚支援の工夫を継続し、より子どもが安心して活動できる環境づくりを行う。
3	保護者との連携と情報共有	連絡帳やメール、送迎時の会話等を通して、日々の様子や活動内容を保護者へ伝えるよう努めている。また面談や担当者会議等を通して共通理解を図っている。	面談や相談機会の周知を行い、保護者がより相談しやすい環境づくりを行う。また活動や支援内容の情報発信を継続する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの研修や交流機会の充実	家族支援や保護者交流の機会はあるが、参加しづらい状況や周知不足があり、十分に活用されていない可能性がある。	保護者会や研修会の開催方法を工夫し、参加しやすい形で実施する。また個別相談の機会を増やし、保護者支援を充実させる。
2	地域交流や関係機関との連携の強化	地域の子どもの交流機会や地域との関わりについて、実施機会が少ない状況がある。	地域の関係機関や園・学校との情報共有を継続しながら、無理のない範囲で交流の機会を検討する。
3	事業所の取組や訓練等の周知	避難訓練や安全対策など実施している取組について、保護者に十分伝わっていない可能性がある。	避難訓練や安全対策、事業所の取組について、通信やSNS、面談等を通して分かりやすく周知する。